

アドバイザーミーティング活動報告
第 10 回名古屋市障害者スポーツ大会
大川・Petersen グループ

去る 5 月 12 日（日）瑞穂陸上競技場で名古屋市障害者スポーツ大会が行われました。
今回で 10 回目を数える同大会に本学のリハビリテーション学部理学療法学専攻の学生がボランティアとして活動をしてきました！
今回はその取材をしてきましたのでその報告です。

【3 年生ポロシャツ】



同大会は、名古屋市在住の障害者の方々のスポーツ振興を目的として開催されているスポーツ大会ですが、種目は主にオーソドックスな 50m 走や 100m 走、ソフトボール投げ、フラインディスクやジャベリング投げなど、障害のある方に合わせ様々なレクリエーション種目もありました。最終競技として、100m×4 リレーが行われ、大盛況のうちに全競技を終了しました。

さて、学生たちがボランティア活動に汗を流していたことは勿論ですが、選手の方を誘導したり、競技の説明をする会話の合間に、基礎疾患についてたずねたり、どういリハビリを行ってきたのかをたずねたり、自分の学びに繋がる視点で活動していたことが印象的でした。

中でも、参加学生の 1 人が「病院という環境ではないこうしたシチュエーションで、障害

のある方々とのコミュニケーションをどうやって取っていくかということは実習や講義の中では学べない生きた体験だと思うし、今後もこうした活動に積極的に関わっていきたい。」と話す姿に頼もしさを感じました。

本学リハビリテーション学部の特徴の1つでもあるアドバイザーミーティング活動ですが、こうした「生きた体験」が学生を成長させる原体験になるのだと感じました。

【ボランティアスタッフ打ち合わせ】【各競技の業務打ち合わせの様子】



【ソフトボール投げの競技説明の様子】



当日は、前日までの雨が嘘のような晴天の中で、暑さにも負けず、選手の皆さんが競技をしていたことにとっても感動を覚えました。

大いに盛り上がった同大会ですが、何よりも選手の皆さんが一生懸命楽しそうに競技をしている姿、それを支えるスタッフ、学生ボランティアが生き生きと楽しそうにサポートをしている姿、その両方があって素晴らしい大会になっていたのだと思います。

名古屋市障害者スポーツ大会は、今回行われた陸上競技、レクリエーションのほかにもボウリングや競泳、卓球などの大会が別日程で行われます。そこにも本学の学生がボランティアスタッフとして活動する予定とのことでした。

【最後に参加学生全員で記念撮影】



(星城大学入試広報課 河合)